

(1) 遅延保証経路切り替え目視外ドローンマルチホップ制御通信 「タフ・ワイヤレス」 (11月に仙台にて実証実験成功)

目的

ロボット同士・端末同士が協力することにより、見通し外で活動するロボットへの遠隔制御を可能に

特徴

- マルチホップで見通し外のロボットを遠隔制御
- 応答遅延時間を保証 (約50~60ミリ秒)
- 経路間の切り替えは、ほぼ無瞬断
- 特定のフライトコントローラ機種に依存しない
- 920MHz帯を使用、免許不要、他と共用可能
- 災害時、携帯電話が不通でも使用可能



